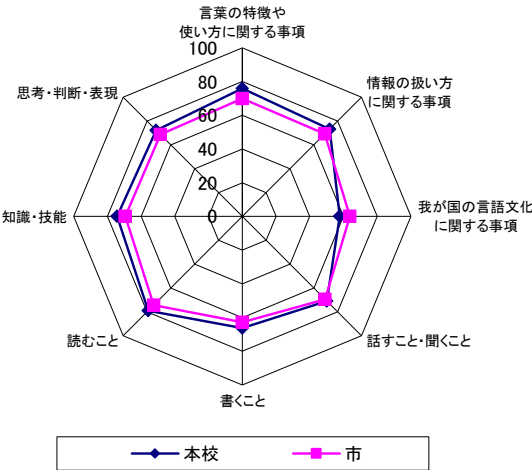


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方にに関する事項	75.9	69.9	72.3
	情報の扱い方にに関する事項	73.3	69.2	73.0
	我が国の言語文化に関する事項	57.8	63.8	66.0
	話すこと・聞くこと	71.0	69.5	71.5
	書くこと	66.2	62.8	67.1
	読むこと	79.0	74.4	73.7
観点別	知識・技能	74.3	69.4	71.9
	思考・判断・表現	72.3	68.8	70.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や 使い方にに関する事項	市の平均正答率を6ポイント上回っている。 ●漢字の読みの正答率が高いが、漢字の書きの正答率が低い。 ○三字の熟語の成り立ちについて理解している。	・漢字を学習する際、単調な練習にとどまらず、文章での活用を促したり漢字や熟語の意味を捉えさせたりして、言葉の使い方を意識しながら取り組めるようにする。
情報の扱い方 に関する事項	市の平均正答率を4ポイント近く上回っている。 ○文章の情報を整理することはできている。	・情報と情報との関係について理解したり、情報を正しく読み取ったりしたことを自分の言葉で簡潔に表現する場を意図的に設定する。
我が国の言語文化 に関する事項	市の平均正答率を6ポイント下回っている。 ●語句の由来や和語、漢語、外来語についての理解が低い。	・語句の由来や和語、漢語、外来語について、日常生活と関連付けたり調べる活動を取り入れて興味を高めたりして、指導を重点化する。
話すこと・聞くこと	市の平均正答率を1.5ポイント上回っている。 ●記述問題が市の平均正答率を2.6ポイント下回っている。 ●話し手が伝えたいことを的確に捉えることが苦手な傾向にある。	・話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるように、活動に目的や必然性をもたせ、必要なことを記録したり質問したりしながら聞く機会を設ける。
書くこと	どの設問も市の平均正答率を上回っている。 ○目的や意図に応じて書き方や表現を工夫し、文章を書くことができている。 ●指定された条件で文章を書く力が十分ではない。	・目的に応じて全体の構成や展開を意識して文章を書く機会を増やす。 ・自分とは異なる意見に対しての自分の考えを文章にまとめる機会を設ける。
読むこと	市の平均正答率を4.6ポイント上回っている。 ○文章を読み、その大体の内容を的確に捉えられることができている。 ●文章全体の構成や展開を明確に捉えることが苦手な傾向にある。	・目的をもって文章を読む活動を設定することで、文章全体の構成に着目して作品の全体像を想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにする。